

校内研究計画書

令和4年4月26日

研究推進部 ●● ●●

1 研究主題

「協働的に学び、自分の考えを深める児童の育成～指導法の工夫を通して～」

2 主題設定の理由

本校は、令和3年度までの3年間で杉並区教育課題指定校として、教育課題「次代の教育課題に関わる研究 学びの構造転換の育成」に取り組んだ。本校では、「対話の力」の育成を目指した、国語科 話すこと・聞くこと領域での指導、朝の時間「高二トーク」の実践を大切にしている。また、全教科・領域での学びの構造転換の授業作りを目指してきたが、教科の特性を生かした指導、資質能力の十分な育成には課題がある。

昨年度末のアンケート（職員）で、研究内容に関する考え方を集めた結果、次の3点があげられた。

- ① 対話の力の育成について継続してやりたい。対話の力の育成について、高二トーク活動集が2月に完成したことからも、確実に実践しながら内容を検討し続ける必要がある。
- ② 学びの構造転換の授業実践を広げる。児童は個別に課題をたてて学習を進めたり、まとめたりすることは概ね前向きにできる。特に国語科（読むこと領域）での実践は全学年で取り組めている。しかし、それ以外の全教科・領域では限られた学年にとどまっている。
- ③ 高二小の校内研究のよさを継続する。「ちよいと見」で授業を日常的に公開して、教員同士が風通しよく授業改善を行う、研究授業に向けて授業者任せにしない、研究協議会では敬意をもちながらもしっかり議論する等のこれまで培ってきた高二小の校内研究のマインドを続けていく。

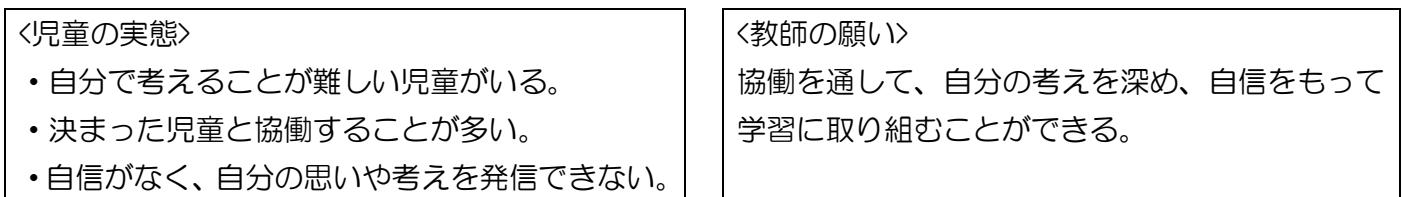
3 研究の仮説

学びの構造転換の考え方をふまえ、「個別」「探究」「協働」のキーワードのとらえ方を本校の実態に合わせて授業作り（授業改善）を行う。児童一人一人が個別の課題を設定し、教師の教材研究を生かした指導計画、手だてにより、探究する活動に意欲的に取り組むことができる。また、協働の活動を意図的・計画的に設定したり、自発的に取り組んだりすることで、知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性の3つの資質・能力を高めると共に、自信をもって学習に取り組むことに繋がるだろう。

4 研究の内容・方法

- (1) 内容 全教科 ※研究授業の教科は、授業者の希望や全体の調整で決め分科会全体で研究する。
- (2) 方法
 - ・研究課題、研修会
 - ・リーフレットの作成
 - ・日常的な授業実践
 - ・研究授業（令和4年度 5回）※分科会検討→研究授業→研究協議会→検証授業
- (3) 昨年度の成果による継続する活動
 - ・日常的な対話活動（話すこと聞くこと領域の「指導計画」「高二トーク活動集」参照）
 - ・ホワイトボードやタブレットソフト「ロイロノート」の活用
 - （話し合い活動で、内容を見える化する。各クラスに中サイズ8枚ずつ設置）

5 研究全体構造図



研究主題

「協働的に学び、自分の考えを深める児童の育成 ～指導法の工夫を通して～」

目指す児童像

- 低学年 友達の良さに気付き、対話を通して自分の考えをもつ児童
- 中学年 相手の話を受け止めて、違いを大切にできる児童
- 高学年 協働を通して、様々な見方考え方方に触れ、自分の考えを見つめ直す児童
- 久我山 相手意識をもち、関わり合いながら自分の思いを表す児童

主体的な学び

- 児童の興味・関心を引く導入の工夫
- 児童の実態に合った単元の開発

手立て

- 実の場のある単元開発、児童が主体的に取り組める仕掛け
- 児童が立てる学習計画
- 自分で課題を立て、探究する

個別の学び

- 自分の学びに合った資料の選択。
- 課題のまとめ方に多様性をもち、自分に合った方法で表現する。

手立て

- 教科書や資料の活用
- 環境整備 ・座席配置
- まとめ方（成果物）の工夫

協働の学び

- 友達との学び合いの中で、課題の発見や解決をしていく。
- 話を受け止め、自己の考えを広げ、深める。

手立て

- 対話の力の育成
 - ・高二トーク
 - ・国語科話すこと聞くこと領域
- 授業での対話
 - ・ペア グループトーク

主体的な態度

協働

深い学び

6 研究の組織

校長	研究主任	低学年分科会	1・2年担任 専科
副校長		中学年分科会	3・4年担任 専科
		高学年分科会	5・6年担任 専科
		久我山分科会	久我山学級担任 専科

7 研究の計画・予定

月日	会議・全体会	内容
4月1日（金）	職員打ち合わせ③	研究方針の説明（詳しくは26日）
4月4日（月）	四部会①（1年間の方針・4月分）	→4/6経営会議
4月8日（金）	四部会②	→4/20・5/16経営会議
4月26日（火）	★校内研究全体会① 14:30～	研究の概要説明・日程・研究のすすめ方について 分科会（授業者・単元等）
5月29日（日）	運動会	
6月2日（木）	四部会③	→6/13・7/11経営会議
6月29日（水）	★校内研究全体会②	模擬授業
7月22日（金）	★校内研究全体会③	2学期の研究授業の検討・指導案作業
8月25日（木）	四部会④	
8月26日（金）	★校内研究全体会④	2学期の研究授業の検討・指導案作業
9月14日（水）	★校内研究全体会⑤	研究授業①(5年 算数)
10月6日（木）	四部会⑤	→10/24経営会議
10月12日（水）	★校内研究全体会⑥	研究授業②(1年 音楽)
11月2日（水）	★校内研究全体会⑦	研究授業③(4年 道徳)
		→11/14経営会議
12月7日（水）	四部会⑥	→12/12経営会議
12月14日（水）	★校内研究全体会⑧	研究授業④(2年 体育)
1月6日（金）	四部会⑦	→1/6経営会議
1月31日（火）	四部会⑧	→2/13経営会議
2月1日（水）	★校内研究全体会⑨	研究授業⑤(久我山)
2月22日（水）	四部会⑨（新年度）	→3/13経営会議（新年度）
3月1日（水）	★校内研究全体会⑩	
3月15日（水）	職員打ち合わせ（新年度）	

8 研究授業・研究協議会の役割 輪番で回す 研究推進の先生が中心となって、分科会全員で担当する。

役割	内容
授業提案・授業中の記録	指導案・事前授業・検証授業・提案・視点の記入用紙作成
協議会会場設営	PC/プロジェクター/スクリーン準備・カード・マーカー・座席の札・式次第
記録	授業中の記録（写真・ビデオ）
協議会進行	司会 協議会の記録（PC・写真）
1回休み	なし

9 研究推進部の役割分担

役割	内容	担当
全体計画 全体会レジメ	校内研究全体の計画作成 レジメの作成・起案 等	
職員室掲示板	職員室研究の掲示板の記入	
進捗状況確認（低学年分科会）	・研究授業に向けた進行管理	
進捗状況確認（中学年分科会）	・事前打ち合わせの参加	
進捗状況確認（高学年分科会）	・事前の授業の記録	
進捗状況確認（久我山分科会）	・研推だよりの作成・起案・配布	
指導案等のHP掲載	授業後、指導案の改善版をHPで公開する	
リーフレット	各学年の進めてきた研究内容が分かるもの	